



ら ぶ っ く La·BOOK

1月号

No.67

新年あけまして おめでとうございます。
今年も どうぞご利用をお願いします。



堀金図書館の企画展示

英語の本を読んでみよう!

Let's Enjoy English!!

今年こそ、英語をマスターしよう!と意気込んでおられる方が多いのではないのでしょうか。堀金図書館では、日本語版と英語版の絵本を並べて展示しています。まずはパラパラとページをめくり、英語を楽しむことからスタートしてみませんか?



昨年 11 月に開催した絵本わくわく講座「Story Time 英語のおはなし会」(講師: 杉本文さん)では、動物たちの鳴き声で日本語と英語の違いを楽しみました。例えば日本語で山羊はメーメー、豚はブーブーですが、英語では、それぞれ、baa baa (バーバー)、oink oink (ウィンク、ウィンク)と表すそうです。発音を気にせず、絵本を味わえばよい、との心強いアドバイスもいただきました。英語の絵本や紙芝居のほか、一般書コーナーでも洋書、英訳付きの本などを揃えて、みなさまをお待ちしております。

Let's Enjoy English!!



中央図書館

奮闘!? 調べもの日記(レファレンス)

「小川大系」1898~1980



穂高交流学習センターみらいや豊科交流学習センターきぼうの建物の中、安曇野市中央図書館内に展示されている彫刻作品…あれは誰の作品か皆さんご存知ですか?

彫刻というと安曇野では荻原礫山があまりにも有名ですが、この小川大系もまたぜひ知っておいていただきたいゆかりの人物です。

明治31年11月穂高(等々力町)生まれ。本名は孝義。美術学校への進学は家の事情であきらめましたが日本画の修行をはじめ、35歳で上京、この時に北村西望の門下生として彫刻へ転向します。その後昭和9年「天空ヲユク」が帝展に初入選。戦争により穂高に疎開しますが、その後も郷里にとどまり制作はもちろんのこと後進の指導や、礫山の顕彰活動にも関わるなど精力的に活動しました。穂高駅前の「登頂」や穂高神社の狛犬など大系の作品は安曇野の風景の一部となり、今でも愛され続けています。



「登頂」は父子像です。ザイルを持ち、優しく子の肩を抱く父の静、こだまを楽しむかのように山の空気をいっぱいに響かせている少年の動。そこに山頂に立った山男のやさしくたくましい安曇野人の姿を表しています。

<関係資料>

『孜々として』 穂高町立穂高中学校編/穂高中学校 2000年

『小川大系の世界』作品集

小川大系作品集刊行委員会/郷土出版社 1998年

『安曇野市HP』安曇野市ゆかりの先人たち

『平成29年度安曇野検定準備講座 講座資料』

(第6回郷土の彫刻家 小川大系)

12月貸出ランキング

一般書

- 1 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 〃 火花／又吉直樹
- 3 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 コンビニ人間／村田沙耶香
- 〃 ナミヤ雑貨店の奇蹟／東野圭吾
- 6 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 〃 危険なビーナス／東野圭吾
- 〃 恋のゴンドラ／東野圭吾
- 〃 コーヒーが冷めないうちに／川口俊和
- 〃 人生がときめく片づけの魔法2／近藤麻理恵
- 〃 三鬼／宮部みゆき 他多数

児童書

- 1 ばいばい／まつのりこ
- 2 おふとんかけたら／かがくいひろし
- 3 だるまさんの／かがくいひろし
- 〃 てぶくろ／エウゲーニー・M・ラチョフ
- 〃 パーパのクリスマス／アネット＝チゾン
- 〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 7 おもちのきもち／かがくいひろし
- 〃 かいけつゾロリのチョコレートじょう／原ゆたか
- 〃 鎌倉時代のサバイバル／イセケヌ 他多数

AV資料

- 1 イマージュ5 cing エモーショナル&リラクシング
／ソニー・ミュージックジャパン インターナショナル
- 〃 おじゃる丸／大地丙太郎
- 〃 ハリー・ポッターと賢者の石／クリス・コロンバス監督
- 〃 岳／片山 修監督 他多数

豊科図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『和菓子を愛した人たち』



表紙

虎屋文庫／山川出版社
徳川家康と安倍川餅、北原白秋とカステラ。奈良・平安時代から近代までの歴史上の人物や文豪たちの和菓子にまつわるエピソードが100話集められています。老舗和菓子店虎屋の資料室「虎屋文庫」のスタッフが調べ上げたエピソードは知らなかったことばかり。和菓子を通して有名人の意外な一面にも触れることができ、歴史好きの方にもおすすめの1冊です。

児童書

『動物の见ている世界』



表紙

ギョーム・デュプラ／著 渡辺 滋人／訳 創元社
私たちがあたりまえに見ている景色。けれども犬や猫、鳥たちにはどんな風に見えるのでしょうか。人間のようカラフルな色で見えているのかな？見える広さはどのくらいかな？いろいろと想像をふくらませてみるけれど、本当のところはよく分からないなと思ってしまう。そんな「？」を実際に“見せて”くれるのがこの絵本。本の中の動物たちの目をめくってみると…そこにはどんな景色が見えるのでしょうか。

私と図書館

「図書館の手探し」

(60代退職男性)

退職する前は、読みたい本は本屋で買ってきて時間がとれた時に読む、というように読書をしてきた。若い頃からの本も合わさって、一部屋が本でいっぱいになってしまっており、家内からは、「床が抜けたらどうするの」と小言を言われてもいた。

退職して、もう本は買わないようにしようと思いい、初めて図書館に行ってみた。行ってみて驚いた。私の知らなかった本がわんさかある。これを読んでみようという本が目の前に次々に現れてきた。よかった。これでもう本を増やさなくて済む。これで家内の小言もなくなるかと思うと、晴れ晴れとした思いになった。図書館は、宝の蔵だ。ところが「これは名著だ。この本は素晴らしい」という宝物に出会うと手元に欲しくなり、購入してしまう本がちよこちよこ出てきてしまった。まだまだ暫くは、本も寿命も減りそうもない…か。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

遅咲き(54歳)デビユーの直木賞作家葉室麟さんが、12年の作家生活を全力で駆け抜けて亡くなりました。没する直前に、若き日の西郷隆盛を描いた『大獄 西郷青嵐賦』松平春嶽が主人公の『天翔ける』を刊行しました。今年は今治維新150年。楽しみに読みたいと思います。